

III プログラム実行環境

III-I フォルダ構成

本アプリケーションのフォルダ構成を図 III-I-1 に示す。

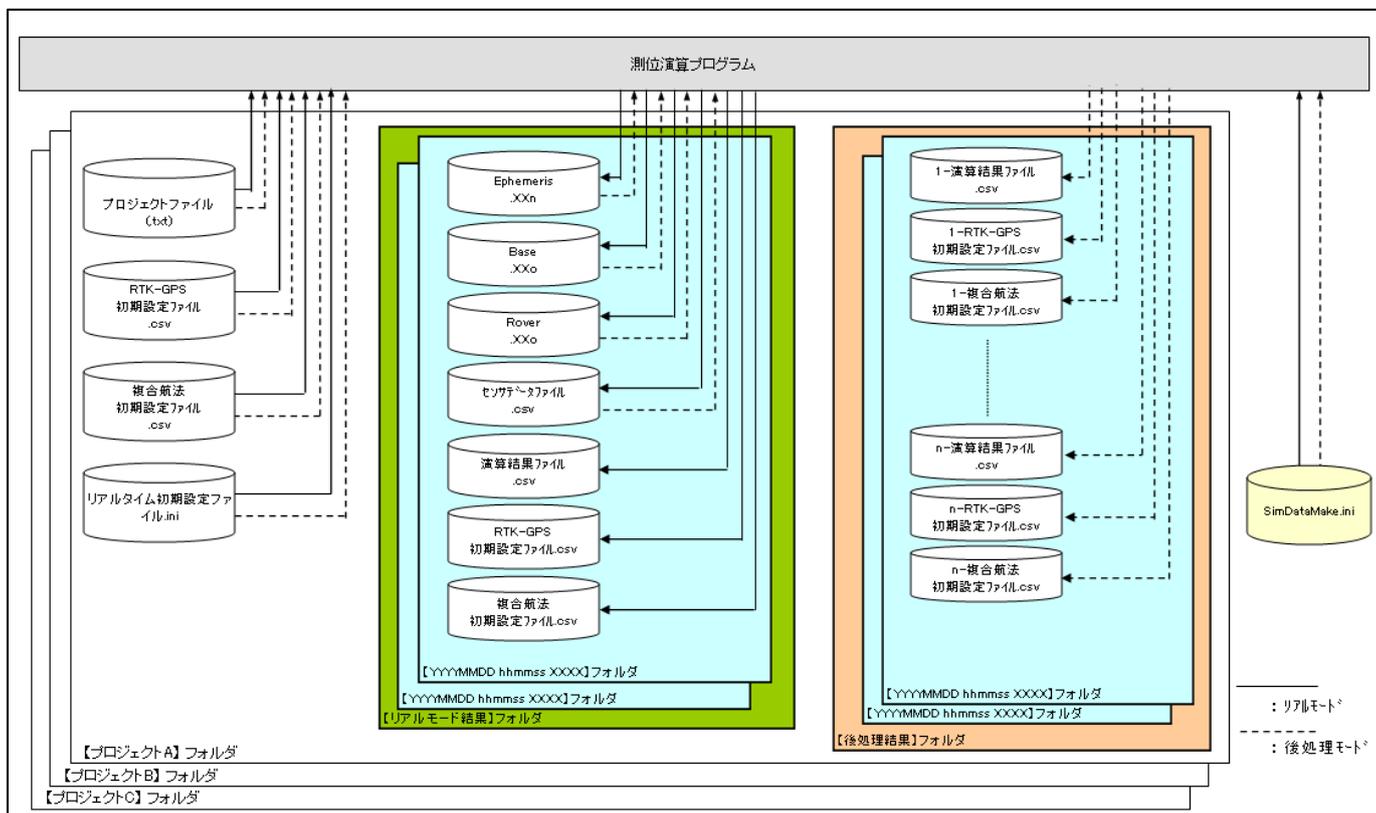


図 III-I-1 フォルダ構成

図 III-I-1 は本プログラム実行時のフォルダ構成を表した図である。

- (1) 測位演算プログラムは同じフォルダに存在する実行環境設定ファイル “SimDataMake.ini” から設定値を読み込み、初期化を行う。
- (2) 測位演算プログラムには “プロジェクト” という測位演算を行う上での作業単位があり、その作業単位毎に “プロジェクトフォルダ” が存在する。
プロジェクトフォルダの中には測位演算処理の前提となる使用測位技術を指定する初期設定ファイル “project.txt” や、指定した測位技術毎のパラメータファイル “RTK-GPS 初期設定ファイル.csv” “複合航法初期設定ファイル.csv” が存在する。
プロジェクトフォルダ名称は任意に設定することが出来る。
- (3) リアルモードで実行した各種測位演算結果ファイルは “リアルモード結果フォルダ” に格納される。格納の際、リアルモード測位演算実行毎に実行日時と使用測位技術をフォルダ名としたサブフォルダが自動作成され、測位演算実行単位で格納される。

(4)後処理モードで実行した各種測位演算結果ファイルは“後処理結果フォルダ”に格納される。格納の際、選択したリアルモード結果と同じ名称のサブフォルダが自動作成され、リアルモード結果単位で格納される。同じリアルモード結果を使用して後処理モードを実行した場合は、各測位演算結果ファイル名の頭に通し番号を付けることにより区別する。

III-I-1 フォルダ構成詳細

フォルダ構成の詳細を図 III-I-2 に示す。

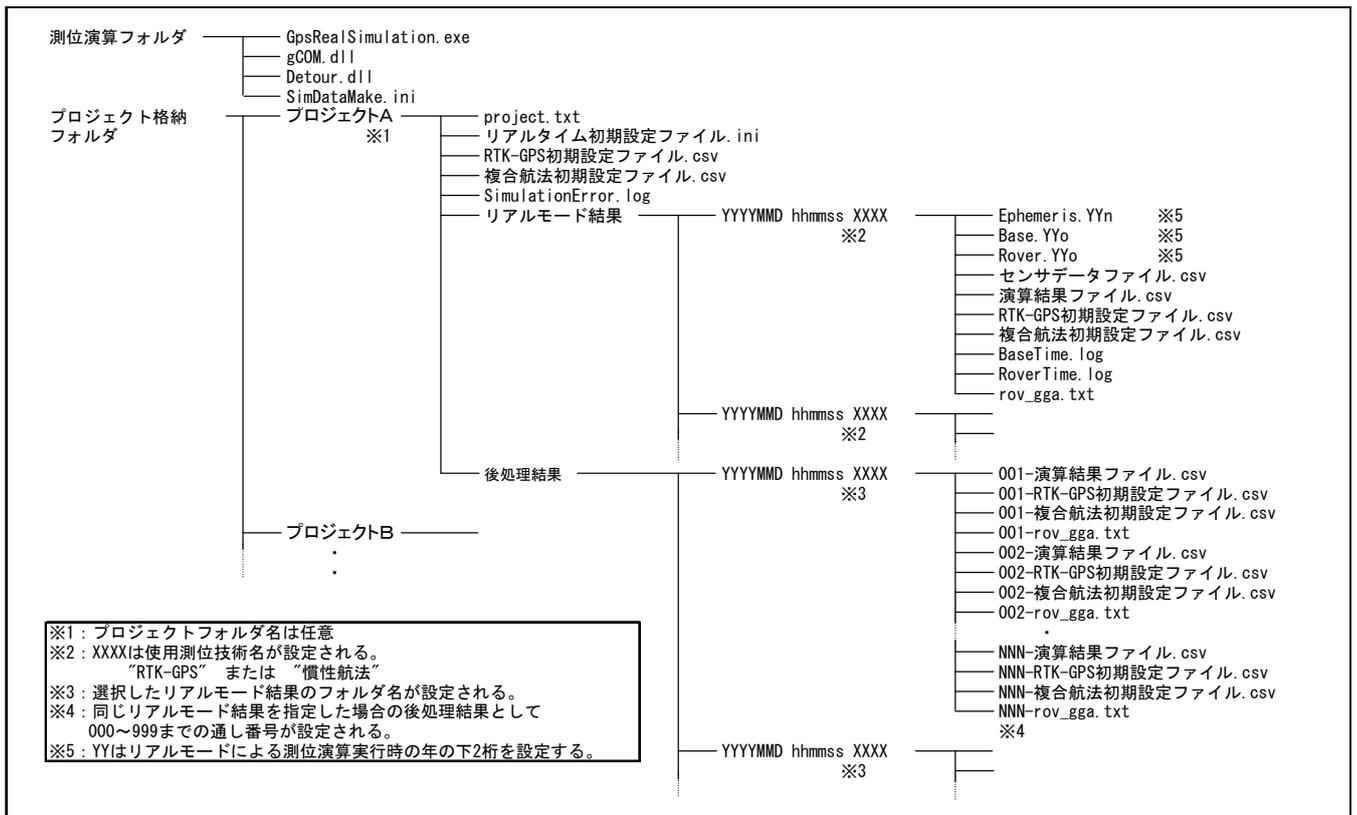


図 III-I-2 フォルダ構成詳細

フォルダ構成の詳細仕様を表 III-I-1 に示す。

表 III-I-1 フォルダ構成詳細仕様

No.	フォルダ名	仕様
1	測位演算フォルダ	測位演算プログラムの実行モジュールと実行に必要な DLL ファイル、初期設定ファイルを格納するフォルダ (1)フォルダ名称：パス、フォルダ名称とも任意 (2)格納ファイル ①GpsRealSimulation.exe

No.	フォルダ名	仕様
		④センサーデータファイル.csv ⑤演算結果ファイル.csv ⑥RTK-GPS 初期設定ファイル.csv ⑦複合航法初期設定ファイル.csv ⑧BaseTime.log ⑨RoverTime.log ⑩rev_gga.txt
6	後処理モード 結果フォルダ	後処理測位演算実行結果を格納するフォルダ 選択したリアルモード結果サブフォルダと同じ名称のサブフォルダが 自動作成され、測位演算結果が格納される。 (1)フォルダ名称：「後処理結果」固定 (2)格納ファイル なし
7	後処理モード 結果サブフォルダ	後処理モードにおいて選択したリアルモード結果に対する測位演算実 行結果を格納するフォルダ (1)フォルダ名称：選択したリアルモード結果サブフォルダと同じ名 称 (2)格納ファイル ①NNN-演算結果ファイル.csv ②NNN-RTK-GPS 初期設定ファイル.csv ③NNN-複合航法初期設定ファイル.csv ④NNN-rev_gga.txt